

西 朝ぼらけ



発行責任者
関西福中・福高同窓会
鈴木 庸子 (高20)
西宮市東山台3-10-4
TEL&FAX:0797-61-3758

関西福中福高
同窓会事務局
西宮市下葭原町1-32-404号
事務局長 友松 宣昭
TEL&FAX:0798-22-8058

◎ 第1回戦

見せてくれた福高魂
ラグビー部が全国大会出場、花園で熱い戦い
ラグビー部OB 西川秀樹(高50回)



28日本郷戦



我らが福高ラグビー部の後輩諸君が28年ぶり37回目の花園出場を果たし、OBとしても実に誇らしい、堂々とした戦いを繰り広げてくれました。

12月28日、待ちに待った初戦の相手は東京の本郷高校。

花園ラグビー場には、現役時代観戦に訪れた際に感じたものとは明らかに異なる、張り詰めた空気が漂っていました。あるいはスタンドの半数を埋め尽くした現役・OB計1500人の期待と緊張がそう感じさせたのかもしれませんが。

そんな中、颯爽と登場する選手たちの姿には入場から胸がいっぱいになりました。美しい芝の緑に、鮮やかな朱と白線のジャージは、本当によく映える。

序盤バックスが巧みに展開し先制のトライを奪います。福高をどちらかというとバックス主体のチームとするなら、本郷は対照的にフォワード主体のチームのようです。福高チームの中で私は現役時代に自身が務めたポジションであるウイングにフルバックを加えた、バックスリーと呼ばれる3人に自然と目がいきましたが、彼らは攻めに守りに極めて高い



花園ラグビー場に「千代原頭」が響き渡ります

間際にトライを許してしまいました。後半も攻め込まれる場面が増え、随所に伝統の低く突き刺さるようなタックルで攻撃の芽は断ち切るものの、終盤にペナルティゴールを決められ1点差で逆転を許してしまいます。時計の針はまもなく30分。プレーが途切れればいつノースাইドの笛が鳴ってもおかしくない、そんな時間帯でした。

自陣ゴール前からつないだボールをハーフライン付近で受けた福岡選手が持ち前の俊足を生かして約50mを独走し、相手のタックルを受け

能力を発揮しているように感じました。聞けばフルバックの主将松下選手、ウイングの福岡選手と谷山選手は高校日本代表候補とのこと。相手にキック攻撃をためらわせ、仲間は後ろを気にせず全力で目の前の敵に集中できるという意味で、彼らの存在は試合の流れにも大きな影響を与えていたのではないかと思います。

一進一退の攻防が続きますが、徐々に強力な相手フォワードの圧力に押され、防御の時間が長くなります。福岡も選択と集中で密集への人数をうまく配分し猛攻を防ぎますが、ついには前半終了



29日の新聞は福高の戦いがトップに



30日大阪朝鮮戦

つつもインゴールにタッチダウン！しかしタッチジャッジからは「瞬足がラインを割った」との判定。タッチかトライか、見守るスタンドの半数以上を占めた福高の応援団は息を呑み総立ちで見守ります。長い（瞬だったかもしれない）協議の後、相手のタックルが危険なタックルとして「認定トライ」を宣言されると、スタンドは絶叫と歓声、興奮の渦に巻き込まれます。

◎第2回戦

まれました。福高の全員ラグビーを象徴するかのような延べ24人のバスをつないで、まさに勝利への執念が生んだ劇的逆転トライで勝利を収めました。

2回戦の相手は優勝候補の一角、大阪朝鮮高校です。

キックオフ。さすが春の全国選抜大会準優勝校、相手のタックルも激しく、福高はなかなか攻めの形をつくれません。個のあたりの強さは相手が上回っているようで、福高が自然と密集付近に人数をかけざるをえなくなつたところを、今度はバックスに広く展開し外で点を取りに来るといふ、強さとしたたかさのあ

る攻めをしてきます。

強い突進と巧みなパス回しで次々とゴールラインを割られ、前半を終えてみれば0対24。

後半も同じように大阪朝鮮が主導権を握った展開が続きますが、福高は体格で勝る相手にもひるまず低く鋭い伝統のタックルを貫きとおします。後半執念で2トライを返し、点差こそ12対48と開いてしまいましたが、見る者の胸を打つ、体を張ったラグビーをしてくれました。福高の花園での戦いは終わりました。

私が森監督やコーチ、OBの方々にラグビーを通して教わったことは、自己犠牲と立ち向かう勇氣、仲間を信じる心、そして決して諦めない強い意志です。

私は現役生のプレーに、脈々と受け継がれる福高DNAを確かに感じ取りました。全国のラグビーファンにも、福岡に古豪福高あり、と改めて強烈な印象を残したのではないのでしょうか。

この機会に同期の横のつながりはもとよりOBの皆様を含めた縦のつながりをも強くする機会をいただけたこと、そしてこの上ない感動の試合を「魅せて」くれた現役生諸君、森監督、コーチやスタッフの皆様、心より感謝を申し上げたいと思います。

熱戦の前後



20回が花園ラグビー場近くのお好み焼き店で祝杯を挙げていると、対戦相手の本郷高校職員の方々（前2人と左2人の男性4人）と遭遇。健闘を称えあい、記念写真をパチリ。1ヵ月後、「ラグビー部員も練習に、また、勉強に励んでいます。今年の大会でまたお会いできればと思っていますが、お互い東福岡・国学院久我山 という難敵を倒さねばなりません。万一花園で再会できなくとも、いつかまたお会いできればと思っています」とのメールをいただきました。



試合前の森監督。
緊張の面持ちでしたが、同期(22回)を見つけて、思わず微笑みが



福高の鉢巻をきりりと巻いて、いざ応援！ 8回生中心のOB

「奇跡のトライありがとう」

会長 市橋和明(高10回)

皆様も同様だと思いますが、昨年
末は、奇跡の逆転トライに、酔いつば
なしました。

福高同窓会本部から関西同窓会
に、母校の花園出場について、現役生
の花園行き等の為の支援を求めら
れていましたので、会員の皆様に援
助を求めましたところ、目標額をは
るかに越え、53万9000円の御寄
附をいただきました。全額を福高本
部に送金し、かつ、同窓会会計から
も別途5万円を、直接選手の宿泊
先に届けました。又、この際事前にラ
グビー部OBの山本良雄さん(高22



ラグビー部・副部長の青柳秀行さん(高27回)とキャプテンの松下真七郎君(高63回)に、同窓会からの寄付金と必勝祈願したダルマを送る市橋会長と山本さん

回)と井上啓子さん(同)が箕面市
の勝尾寺に行き祈禱を受けたうえ、
だるまさんを頂いておりましたので、
これを同時に渡しております。後か
ら考えるとこのだるまは御利益があ
ったのかもしれない。この紙面をか
りて全ての皆様に厚くお礼を申し
上げます。

又、大会に先立ち、前記の山本さ
んが、関西在住のラグビーOBを集
め、氣勢を上げました。この時挨拶
に立った福島博さん(高28回)が、感
極まって泣き出す場面もあり、私も
感激しました。本当に福高同窓生は
熱い集団ですね。

さて、試合のことを少し
は言わせて下さい(敬称
略)。
相手本郷高校に1点リ
ードを許したまま、試合が
切れば、ノーサイドとい
う時、自陣10ヤードからパ
スをつなぎ、福岡堅樹が、タ
ッチライン沿いに60メートル
以上を走り抜いたトライで
した。

全て福高が大見出しでした。
福岡選手は、右ひざのじん帯が切
れたままのプレーでしたし、県予選の
決勝戦で全得点を挙げた主将の松
下真七郎は大会直前に顎と右鎖骨
を骨折し、鎖骨に鉄棒を入れたま
ま試合に臨み、それこそ傷だらけの
栄光でした。

尚、松下主将は、続く対大阪朝鮮
の試合でも全得点を挙げました。
唐突ですが、1973年の明治対
早稲田の大学ラグビーの決勝戦で、
福高OBである明治のWTB渡辺
貫一郎は、ノーサイド直前タッチライ
ン沿いに数十メートルを独走し、左
隅に飛び込み、決勝トライを挙げる
奇跡を演じました。

この時も、全く違う理由で、一度は
タッチジャッジの旗が上がりましたが、
結局トライが認められました。時と
場所の違いはありますが、福高ラガ
ーによって殆んど同じ奇跡がくり返
されたのです。

因みに、この試合に、森重隆は、明
治のTBとして出場しています。で
すから、森は、二度共、この奇跡にか
らんでいたことになりました。森監督
も又、何かを持っているのでしょうか。
今回の疾走、逆転、劇的トライは、
これからも永く語り継がれることと
しよう。

高らかに千代原頭を唄いましょう。
本当にありがとうございました。

後輩が僕たちの 悲願をかなえてくれた!

関西ラグビー部OB会開催

福岡高校ラグビー部が28年ぶりの
全国大会出場で盛り上がる中、花
園競技場がある関西で、ラグビー部
OBたちが初の会合を持ちました。
12月18日、会場の大阪第1ホテルには
マネージャーを含む12人と、関西福
中福高同窓会市橋会長ら2人、計
14人が集いました。

OB会を呼びかけたのは、22回の
山本良雄さんで、森監督とは同期。
この日の最年長は10回の三木和夫さ
ん。「福高のラグビー部に入ったことで、
自分の人生が決まった感がある」と、
ラグビーへの熱い思いを語ります。19
回の田中巧さんは2年3年と全国
大会に出場した経験の持ち主。33歳
まで現役を続けた熱血ラグーマンで
す。22回福岡義伸さんは、愛知県ラ
グビーフットボール協会の理事長。「退
職後はラグビー漬けの暮らしに」と、
3月に定年を迎えます。

後輩の今回の快挙に思わず声を
詰まらせたのは、28回福島博さん。
「僕たちは弱くなり始めた時期。自
分たちの願いを後輩がかなえてくれ
た」。38回の光安哲夫さん、41回古
賀信成さんも同じように、「ずっと全
国大会に出られなかった時期。悔し
い思いを後輩が晴らしてくれた」と



2010ラグビー部OB会

万感の思いを語ります。
41回高橋登志夫さんは、森監督
の「しげたかスナップができる男と言
われたとか。社会に出た今も、「福高
ラグビー部にいたといえは、目置か
れます」。50回西川秀樹さんは両親
が森監督と同期。「監督から花園で
会おうと、結婚式のビデオメッセージ
をいただきました。現実になつてうれ
しい」。50回生は森さんが監督になつ
て1年目の部員。「初戦敗退で監督
とヤケ酒を飲んだ」(吉田研吾さん)
と、封印された思い出の披露も。女
子マネージャーも29回上林久美子さ
ん、49回中井怜美さんが出席。
後日、OBの熱い思いを込め、勝
尾寺で必勝祈願をしたたるまが、ラ
グビー部に届けられました。

関西福中・福高同窓会ホームページにアクセスを

◎同窓会からのお知らせ

トップページに掲載しています。クリックすると詳しい内容がわかります。会長の挨拶をはじめ、同窓会役員・行事予定などもご覧ください。



◎SNSへの登録

会員相互のコミュニケーションを図ることができます。

左フレームの「井戸端会議(SNS)」から、次のページの「新規登録を希望の方はこちらへ」へ進んでください。必要項目を記入すると、改めて登録案内が送信されます。多少面倒ではありますが、送られたメールの指示に従い入力していただく登録が完了します。



HPの誕生から今日まで

岡部和也(高28回)

2001年11月11日に産声を上げた関西福中・福高同窓会HPも今年で10周年を迎えます。HPの作成をお引き受けたものの、そのような知識も経験もない私には未知の世界でした。本屋で一番薄い本を買い、この道に精通している会社の後輩に教えるを乞い、「バクレばいいんですよ」という目からうろこのアドバイスを受け、何とか形になったのが最初のHPでした。その後、強いご要望に応える形で掲示板機能などを追加していき、少しずつではありますが、充実したものになっていきました。その一方で、不適切な書き込みが後を絶たず、掲示板は取壊し無き閉鎖。新たな担当者の元、システム変更などの更なる改善を試みましたが、予期せぬ課題も発生したため、再度初心に帰り、今回の新HPの立ち上げとなりました。

初HPで掲げた速報性、記録性に加え、会員相互のコミュニケーションを図れるようにSNSの機能を追加しました。また、新規登録や住所の変更など連絡先が分からないという会員の声に応える内容としました。

同好会のメンバーを募集しています。

★囲碁部つろうろ会

昨年は2名の新規加入を迎え現在登録メンバーが16名になりました。月に1回、最終土曜日、大阪天満橋の囲碁クラブ雅で活動しています。初級の3級位者から最高位8段者で楽しんでいます。

年に3回、近畿修会会の囲碁部との対抗戦を行っています。昨年まで対戦成績、7勝7敗1引き分けの互角でしたが、今年1月の対抗戦で団体戦19勝16敗と辛勝し勝ち越すことが出来ました。対戦の後是最寄りの居酒屋にて博多弁丸出しで和気藹々の楽しいひと時を過ごしています。

囲碁に興味のある方は、会長・糸嶺直樹さん(高12回)TEL0787542346)か幹事の中村龍彦さん(高12回)TEL07277922185)とご連絡ください。



★どんたく会

ゴルフの同好会です。春と秋の2回、例会を開催しています。秋には近畿修会会と対戦しています。4月14日に春の大会をしますので、二人でも多くの人の参加をお待ちしています。連絡は連絡は中村龍彦さん(TEL上記)か、村嶋紀久男さん(高17回)TEL07977229438)へ

★野鳥の会

第一金曜に京都・奈良・大阪・兵庫で探鳥会(午前9時～午後3時)を開催しています。興味がある方は松岡蒼然さん(高6回)携帯090(2389)2743)へ。

年会費納入のお願い

総会案内と一緒、平成23年度年会費納入の振込取扱票を同封させていただきます。同窓会活動の維持のために、一人でも多くの方のご協力をお願いします。

【年会費】二千元
【六年一括】二万円
【十年一括】二万五千元

広告募集

同好会や同期の集まりで広告を出していただけません。大枠2万円、小枠1万円。広告希望者はメールでお知らせください。広報担当・鈴木hde03201@hcc1.bai.ne.jp

北摂の会

北摂に興味のある方なら
誰でも参加OK。
世代を超えて交流しましょう。
開催はHPで告知します。

昨年末の第90回
全国高校ラグビー大会では、
多くのご声援を
ありがとうございました。

関西福中・福高ラグビー部
OB会
事務局 山本良雄(高22回)

福中・福高同窓会

会長 小林 彰(中25回)

【事務局】

〒812-0044 福岡市博多区千代1-5-19
TEL&FAX 092-641-7258
http://fukuchu-fukkou.jp/